

景観構成重要木の調査結果について

1. 調査の概要

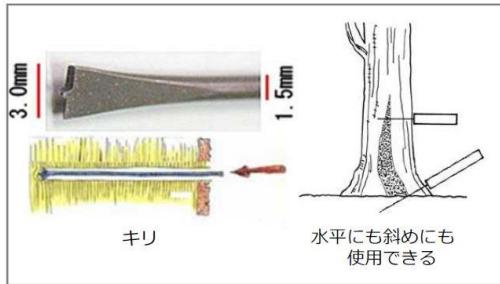
- ・景観構成重要木全411本中140本について、詳細診断（専門機器を使用した腐朽率予測調査）を行いました。（調査期間：令和4年11月～12月）
- ・今回診断に用いた専門機器や手法は、東京都建設局が公開している「令和3年度 街路樹診断等マニュアル」に示されています。
- ・専門機器はセンサー付きのピンを幹に設置し軽く叩く操作や、根についてはごく細いドリルを差し込む等の操作で、幹や根（地中）の断面における腐朽や空洞の度合い（腐朽率）を予測するものです。
- ・これにより、樹木の健全度を推測しました。



▲ センサー付きのピンを幹に取り付けた状態



▲ 細いドリルを幹に差し込む様子
(出典)『令和3年度 街路樹診断等マニュアル(東京都建設局)』



2. 調査結果

- ・腐朽率毎の本数
45%未満：96本 **45～59%：34本** **60%以上：10本**
- ・今回の調査結果を踏まえると、令和5年度以降に更新対象となる景観構成重要木は計56本（見た目だけで傷みが顕著であった12本を含む）となります。
- ・樹種として特にサクラ、スダジイ、シダレヤナギは腐朽率が高い傾向にありました。

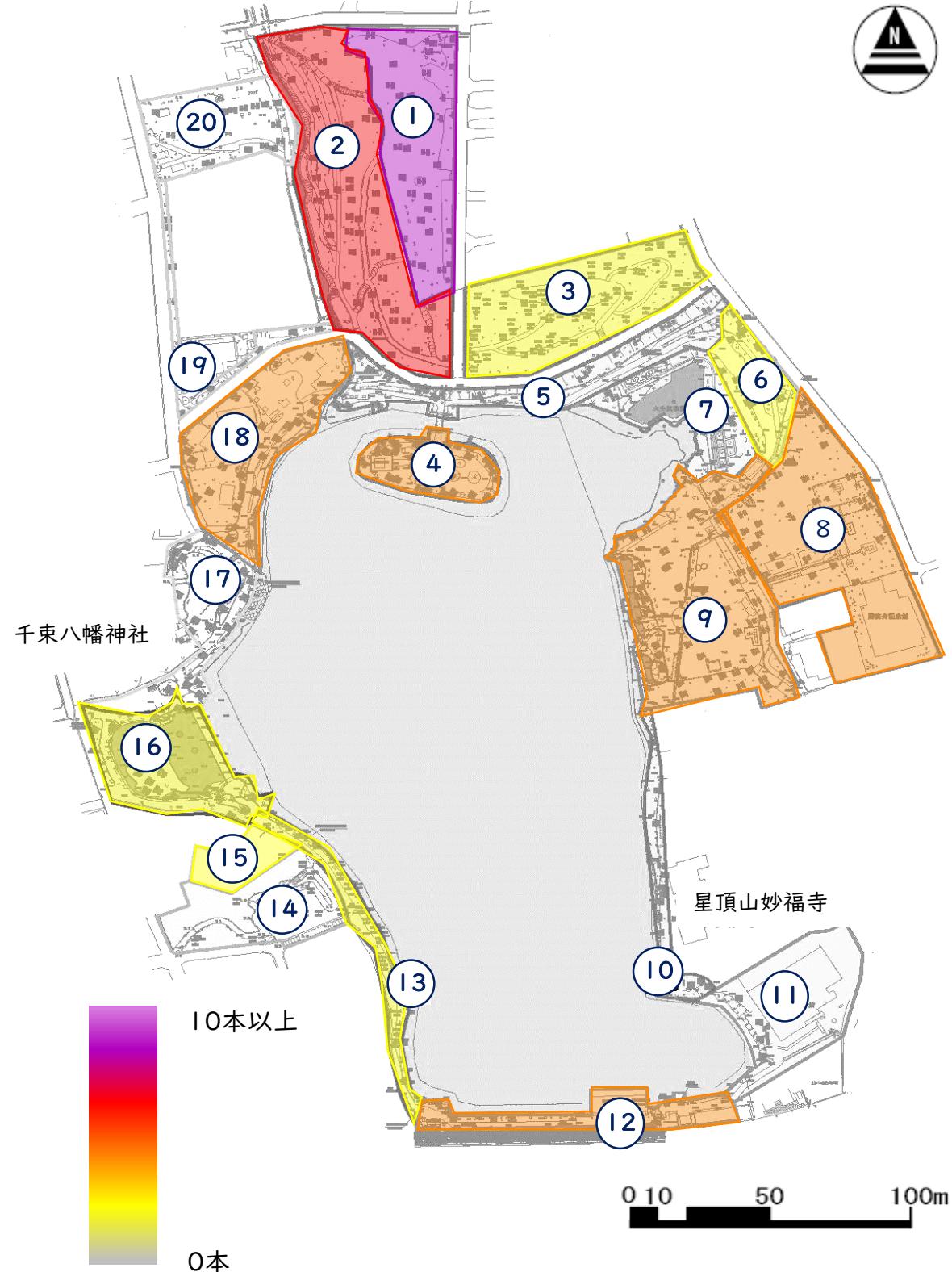
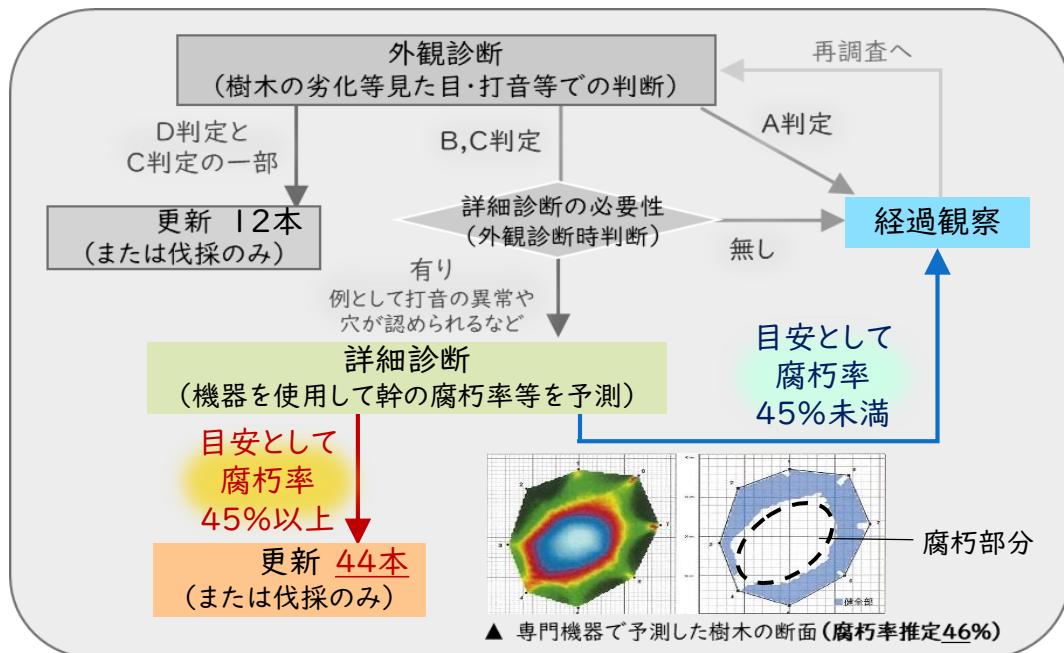


図1. 腐朽率45%以上の景観構成重要木の有無を示す図(エリア別)

景観構成重要木の調査結果について

3.更新の優先順序について

- ・景観維持の観点から、更新対象樹木は段階的に更新、伐採を進めます。
- ・前回提示しました更新スケジュールについても修正が必要ですが、更新対象樹木の本数が大幅に増加したこと、景観構成重要木1本毎に状態や周囲への影響を考慮する必要があること等の理由から、更新の優先順序を今後早急かつ慎重に検討いたします。

(以下更新の優先順序付けに伴う条件整理のイメージ)

更新対象樹木56本
(または伐採のみ)

倒木の
可能性が
高い樹木など

緊急の
伐採

条件の整理

条件の例

◆立地条件

- ・道路や園路に近いか
- ・強風を受けやすいか
- ・民家との距離

◆樹木の状態

- ・腐朽率
- ・樹木の大きさ、形、傾斜

◆景観

- ・エリアの偏り
- ・樹林としての見ごたえ

...

更新の優先順序付け

今後早急に撤去が必要と判断した樹木は、緊急の伐採作業等を実施いたします。また、作業の理由、時期等を利用者に理解していただけるよう周知いたします。

(参考) 令和4年度に伐採、撤去した景観構成重要木 (予定含む)

令和4年度に伐採、撤去した景観構成重要木は8本でした。(予定含む)
これにより、景観構成重要木は403本になります。

なお、伐採は倒木防止のための安全措置、撤去は倒木によるものです。
(Cの値は幹の周囲長(cm)です。)

▲ ... 伐採、撤去した樹木

▲ ... 年度内に伐採予定の樹木

エリア番号

- ⑧ ケヤキ C=182 (伐採)
- ⑩ エノキ C=130 (撤去)
- ⑩ シラカシ C=140 (撤去)
- ⑰ シラカシ C=177 (伐採)
- ⑱ ケヤキ C=195 (伐採)
- ① サクラ C=186 (伐採予定)
- ① サクラ C=192 (伐採予定)
- ② コナラ C=132 (伐採予定)

